

認知症カフェに行ってみましょう

認知症カフェとは・・・?

認知症の人やその家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に参加できる“つどいの場”です。認知症の人やその家族の気持ちをサポートします。

お茶を飲みながら日頃の介護について語り合ったり、何げないお話をしたり、脳トレや体操を行ったりと、カフェごとにいろいろな特色があります。



参加ご希望の方はお近くのカフェやカフェの特色などをご紹介しますので、最寄りの地域包括支援センターにお問い合わせください。

地域の取り組みに参加しよう

いきいき百歳体操とは・・・?

5人以上のグループで、地域の集会所などを使用し、地域のみなさんが主体となって、週1回以上行う筋力アップの体操です。DVDを見ながらゆっくり行う体操で、体力・筋力に自信が無い方でも参加していただけます。

地域での交流など社会活動への参加は認知症に効果的です。「自分の近所でも始めたい!」「自分の家の近くでもやっているの?」など、ご相談ください。



地域ほのぼのサロンとは・・・?

地域のボランティアさんの運営で、近くの集会所などに集まり、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりしたり、体操などされている所があります。閉じこもりは認知症の危険信号です。お近くに無ければご相談ください。



いきいき百歳体操、ほのぼのサロンに関する問い合わせ先

大和郡山市地域包括支援センター：0743-55-7733
大和郡山市社会福祉協議会：0743-53-6531

認知症高齢者等の行方不明事故を防ぐために

認知症高齢者は、目的をもって出かけても道に迷って帰れなくなってしまうことがあります。家族が常に見守ることはなかなか難しいものです。日頃から住所氏名のわかるものを身に付けたり、行方がわからなくなったときに捜索をサポートするグッズやサービスをご利用ください。あらかじめ近隣の方に声をかけておくことも大切です。

見守り金魚バッジ

社会福祉協議会に登録しているボランティアさん手作りの金魚バッジは、地域での見守りが必要な方に付けて頂いています。裏に住所、氏名連絡先などを記入してお使いください。各地域包括支援センター、社会福祉会館、市役所介護福祉課等で配布していますのでぜひご利用ください。



GPSを利用する

持ち物や衣服、靴などに器具を付けておくことで現在の居場所がパソコンや携帯で確認ができます。(介護保険適用あり)

道に迷って帰れなくなったりする恐れがある時に登録しましょう

自分で名前や住所などが言えない身元不明の認知症高齢者等が警察で保護された場合、事前に登録しておいた情報(写真や特徴)があると、すみやかにご家族に連絡することができます(徘徊高齢者等SOSネットワーク事業)。

問い合わせ：大和郡山市地域包括ケア推進課 地域ケア係

TEL 0743-53-1151 (内線585)

もしも家族が行方不明になったら、できるだけ早く相談を!

1) 警察にできるだけ早く連絡しましょう。行方不明になった時の状況を伝えるときに、その人の写真があると捜索の手がかりになります。

連絡先：郡山警察署 0743-56-0110

2) 担当のケアマネジャーや地域包括支援センターにも相談してください。関係機関への情報提供など捜索の範囲が広がります。